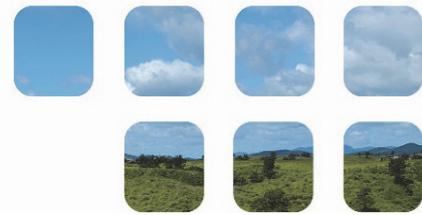


# ブルーフロンEGトップSi



## ■ 特長

- ・2液溶剤形既調合タイプのウレタン防水材用アクリルシリコントップコートです。
- ・特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則に非該当の塗料です。
- ・ラジカルブロックテクノロジーを採用した酸化チタンを配合。塗膜劣化の要因の一つである、酸化チタンから発生するラジカルをブロック。樹脂の劣化を防ぐため、塗膜の耐候性が優れています。さらにHALS配合によって、発生したラジカルを無害化することにより耐久性を高めています。
- ・ウレタン防水材に対して付着性が優れています。

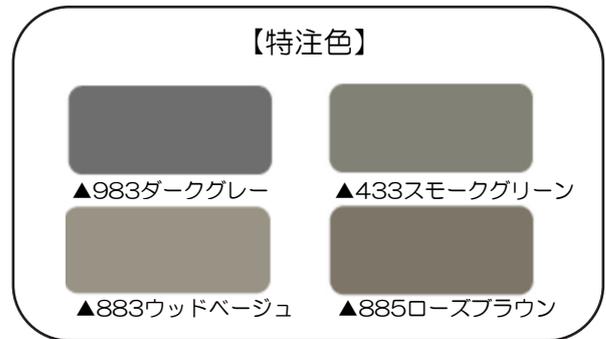
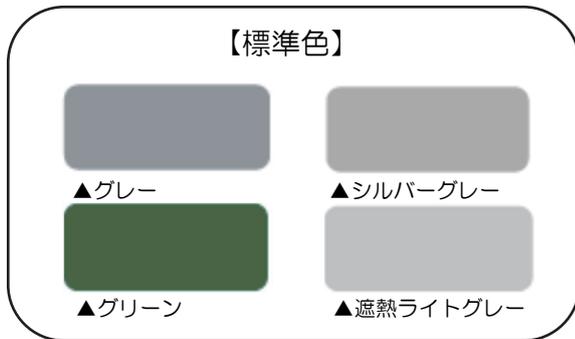
## ■ 荷姿

- ・15kgセット（A液：9kg B液6kg）

## ■ 適用防水材

- ・「ブルーフロンシリーズ」「NTスプレーシリーズ」

## ■ 色相（8色）



※印刷のため実際の色とは相違があります。  
 ※実際の色相は別資料のブルーフロン標準色見本帳をご参照ください。  
 ※特注色は、割高になります。また、納期は受注後1週間程度となります。

## ■ 標準施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工間隔 (23℃)
下地	・ウレタン防水材 (ブルーフロンシリーズ、NTスプレーシリーズ)				ブルーフロンシリーズ： 18時間以上72時間以内 NTスプレーシリーズ： 3時間以上48時間以内
トップコート	ブルーフロンEGトップSi A液 9kg B液 6kg	刷毛 ローラー	5時間以内	0.20 ※	歩行可能：24時間以上 養生期間：48時間以上

※ ウレタン防水材のトップコートとして使用する場合の使用量です。  
 PU工法やPRV工法で遮熱ライトグレーを使用する場合は、0.15kg/m<sup>2</sup>を2回塗装してください。  
 1回目と2回目の施工間隔は3時間以上72時間以内（23℃）です。

## ■ 消防法

- ・A液：第四類第二石油類・非水溶性液体
- ・B液：第四類第二石油類・非水溶性液体



## ■試験成績

項目	結果	試験方法
容器の中の状態	かき混ぜたとき、 堅い塊がなくで一様になる	JIS K 5600-1-1 4.1 (1999)
塗装作業性	支障なし	JIS K 5600-1-1 4.2 (1999)
乾燥時間 指触乾燥 (23℃)	30分以内	JIS K 5600-1-1 4.3 (1999) [150μmアプリーケーター]
塗膜の外観	正常	JIS K 5600-1-1 4.4 (1999)
60度鏡面光沢度	85	JIS K 5600-4-7 (1999)
鉛筆硬度	HB	JIS K 5600-5-4 (1999)
耐酸性 (0.5%硫酸×7日間浸漬)	異常なし	JIS K 5600-6-1 7 (1999)
耐アルカリ性 (飽和水酸化カルシウム水溶液×7日間浸漬)	異常なし	JIS K 5600-6-1 7 (1999)
耐候性 (宮古島 1年)	87%	JIS K 5600-7-6 (2002) [南面30度 60度光沢保持率]
促進耐候性 (3000hr)	92%	JIS K 5600-7-7 (2008) [XWOM 60度光沢保持率]

※結果は代表値であり、品質を保証するものではありません。

## ■製品の取り扱い上の注意事項

- 塗料は必ず、指定材料を使用し秤を用いて規定配合比で調合して十分に攪拌後施工してください。他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗料の調合、施工間隔、可使用時間、使用量など塗装仕様は守って施工してください。なお、可使用時間や施工間隔は、気温や材料温度により変わります。夏場は特に短くなりますのでご注意ください。
- 著しい高温、高温下、もしくは気温が5℃未満の場合での施工は避けてください。
- 冬期は硬化速度が遅くなります。施工間隔に充分注意してください。
- 降雨や降雪、降霜、夜露などが想定される場合は、施工を行わないでください。
- トップコートの施工後に水分に曝された場合、艶引けや白化などが発生する場合があります。シンナー拭き後、再度、トップコートを塗装してください。
- 規定の使用量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合があります。決められた使用量を必ず守ってください。
- 塗料を調合する際は、あらかじめ塗料を均一になるように攪拌してから、秤を用いて計量、塗料の調合を行なってください。小分けして使用する際も同様に行なってください。
- 塗料の液相分離が見られる場合は、攪拌機を使用し十分に攪拌してください。
- 一度調合した塗料は必ず可使用時間内に使い切るようにしてください。可使用時間を過ぎた塗料は使用しないでください。
- 一度に厚塗りせず、あまりがでないように施工してください。一度に厚塗りしますと塗膜のフクレや発泡の原因になります。また、あまりができると剥離の原因になります。
- 硬化が不充分的状態で次工程の施工をすると再溶解やリフティング（塗膜のチズレ）が発生する場合があります。硬化乾燥していることを確認してから次工程へ進めてください。
- 「ブルーフロンEGトップシリコンマイルド」のA液や、B液は使用できません。また、混合もできませんのでご注意ください。
- 遮熱色の場合、塗装色より既存塗膜の色が薄い場合、遮熱（温度低減）効果が得られないケースもありますのでご注意ください。

## ■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なたつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート（SDS）をご参照ください。

※製品改良のため、仕様を予告なしに変更することもございますのでご了承ください。その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください。

# 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>